

JPIC NEWSLETTER

通巻 200 号

2018 年 10 月 31 日

書店大商談会 「児童書分科会」開催

去る10月1日(月)、東京都千代田区の一橋講堂・中会議室にて、書店大商談会「児童書分科会」が開催されました(主催:「書店大商談会」実行委員会、委員長:矢幡秀治・真光書店、「児童書分科会」担当:高橋小織・BOOKS隆文堂、事務局:JPIC)。

児童書最大の繁忙期であるクリスマスの発注を秋口に、という要望にお応えすべく、初の試みでの開催となりました。56の出版社が出展し、クリスマス商戦に向けたラインナップを中心に、各社のおすそめをアピール。来場書店人数は170名、商談成立額は613件、15,455,591円でした。

参加者からは、「児童書に集中でき、効率的だった」「これからの商戦期に即戦力として活かせるのでありがたい」といった声が寄せられました。



販促物などの商材ににぎやかなのも児童書ならではの

第九回「書店大商談会」は年明け2月6日(火)、昨年と同様、東京ドーム・プリズムホールにて、また、11月7日(水)には「BOOK EXPO 2018 秋の陣」を開催します。詳細はJPICのHPおよび同封のチラシをご参照ください。

第52回造本装幀コンクール 公開展示会が開催されました

10月26日(金)~28日(日)に第52回造本装幀コンクール(主催:日本書籍出版協会・日本印刷産業連合会、事務局:JPIC)の公開展示会が、東京都千代田区の東京堂ホールで開催されました。受賞作22作品と全応募作325点に加え前回の受賞作でドイツの「世界で最も美しい本コンクール」銀賞受賞作品も展示されました。

この展示会は神保町ブックフェスティバルに合わせて行われ、オープン直後から、展示を楽しむに来てくださった方で賑わいました。出品者・関係各社はもちろんのこと、デザインを学んでいる学生や、ブックフェスティバルに来場した本好きな方々などが途切れなく訪れ、細部までこだわりぬいた数々の装幀の本に見入っていました。来場者数は昨年を上回り、最終日までの3日間で約340人となりました。

造本装幀コンクールの入賞作品の展示会は、東京都文京区の印刷博物館で12月15日(土)から、また奈良県立図書情報館にて来年4月から開催予定です。



1冊1冊、真剣に見入る来場者

飯舘村「20歳の20冊」

福島県飯舘村では、成人を迎える村民に本を贈る事業「20歳の20冊」を毎年行っており、その選書をJPICが担っています。5人の選者と教育長らが選んだ本、合わせて20冊が掲載されている冊子を制作。新成人は厳選された20冊から読みたい1冊を選び、その本が成人式にプレゼントされます。

今年の選者は東えりか氏(HONZ副代表)、木俣正剛氏(岐阜女子大学教授、元文藝春秋社常務取締役)、齋藤孝氏(明治大学教授、教育学者)、永江朗氏(ライター・批評家)、中島京子氏(直木賞作家)。選者自身の思い入れがある本など、3冊ずつ選書をしていただきました。JPICのHPにて20冊を紹介しています。

NEWSについてのお問合せや詳細資料ご希望の方は、事務局までお申し付け下さい。

JPIC HPアドレス: <http://www.jpic.or.jp>

賛助会員様のイベント情報を発信します!

文責:中泉 淳(nakaizumi@jplic.or.jp)